

『一生懸命』はかっこいい!!



十二月一日(日)、天草小中学校合同持久走大会を実施しました。前日までの雨も上がり、絶好の持久走日和の下、子どもたちは自分の目標に向かって一生懸命走りました。今年度は、コースと距離を新しくし、男女とも中学校をスタートし小学校・白木方面を回って中学校に戻る4.5kmのコースとしました。

師走の高浜路を駆け抜ける 小中合同持久走大会

天中だより

校訓
自主 協和 強健

天草市立天草中学校
令和6年12月17日
文責：校長 瀧森 智

順位

【男子(4.5km)】

- 1位：川端真平
- 2位：江上直千翔
- 3位：佐藤夏絆
- 4位：平山玲王
- 5位：大寄悠生
- 6位：片浦拓海

【女子(4.5km)】

- 1位：高見紗空
- 2位：緒方陽菜
- 3位：西島葵紗
- 4位：濱田好羽
- 5位：迫口愛空
- 6位：川原 濤

【宣言タイム】

- 1位：深江脩太
- 2位：濱田好羽
- 3位：福井颯真

(敬称略)



通指導にご協力していただいた駐在所・交通指導員の皆様、そして保護者の皆様、大変お世話になりました。ありがとうございました。



保護者・地域の皆様の応援が、子どもたちの力走につながりました。本当にありがとうございました。また、早朝より交



天草郡市小中学校音楽会
十一月二〇日(水)、天草市民センターホールで行われた天草郡市小中学校音楽会に、全校生徒で参加しました。今年で七十一回という長い歴史を持つ音楽会です。校内合唱コンクールで最優秀賞を受賞した三年生が「栄光の架け橋」、全校合唱で「ほらね、」を披露しました。

天草郡市小中学校音楽会

今後の主な行事予定

【12月】

- 25(水)：冬季休業日、生徒会リーダー研修
- 27(金)：仕事納め
- 30(月)～1/3(金)：学校閉庁日

【1月】

- 6(月)：仕事始め
- 8(水)：始業式、実力テスト、ノー部活デー
- 9(木)：実力テスト、身体測定(~14日) いるか号
- 13(月)：成人の日
- 15(水)：お魚教室(1・2年)
- 16(木)：とどろきテスト問題配布(スペシャル①)
- 20(月)：3年生定期テスト範囲配布日
- 21(火)：公立前期選抜出願開始(~24日)



三年生の合唱は少人数とは思えないほど、ホールに響く歌声でした。全校合唱も一体感のある素晴らしい歌声でした。講師の前天草小校長中村理恵先生や他校の先生方からも、歌声の素晴らしいことや調和のとれた合唱に高い評価をいただきました。合唱は、天草小・中学校の他校に自慢できる伝統だと思います。これからも、この伝統を大切に守って歌い継いでいきたいと思えます。



次期生徒会執行部が決定しました!

11月14日(木)に生徒会立会演説会・投票を行いました。その後、選挙管理委員が開票を行い、次のみなさんが次期生徒会執行部となりました。公約が実現できるようがんばりましょう。

生徒会長：高見紗空さん 2年副会長：上野麻緒さん

1年副会長：川原 濤さん

これからの天草中生徒会自治活動を
よろしくお願ひします!

『天草中学校HP』は、下のURLまたは右のQRコードから閲覧できます。ご覧ください。

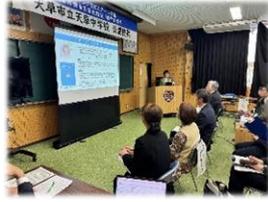
<https://jh.higo.ed.jp/amakusa/>



リーディングDXスクール公開授業(国・数)

十一月十八日(月)、リーディングDXスクール公開授業を行いました。天草市の中学校の先生方が、国語(二年)と数学(二年)の授業を参観され、その後本校の取組について研修を深めました。

先月号でも取り上げましたが、リーディングDXスクールとは一人一台端末を活用して、個別最適な学び、協働的な学びを実現していく取組です。



講師に東京学芸大学准教授の登本先生をお迎えしました。登本先生は、苓北町都呂々のご出身です。公開授業の前、全校生徒に「これからの学び」についてお話をしていたきました。そして、天草西海岸の美しさは世界でも引けをとらないものだと言われていました。講演の最後には先生が書かれた「学びの技」の本を全校生徒にいただきました。生徒・教職員ともに学びの多い一日となりました。



再生可能エネルギー講話 環境教育関連書籍寄贈

十一月二十一日(木)、再生可能エネルギー施設を建設されているGPSホールディング株式会社(株)の堀之内様より、再生可能エネルギーについてのお話をいただきました。この会社は、天草西高校跡地に設置されている太陽光発電の会社です。



また、環境教育関連の本を寄贈していただきました。高浜地区まちづくり振興会からの要望もあり、地域貢献の一環として寄贈いただきました。すでに図書室へ置かれていますが、SDGsの学習に役立てていきたいと思っております。ありがとうございます。

2年生修学旅行 12月11日~13日



平等院鳳凰堂にて

部活差別をはじめあらゆる差別をなくす 熊本県人権子ども集会

十二月四日~十二月一日は「人権週間」でした。各種の啓発活動が行われていました。学校でも十二月に人権旬間を設定し、各学年で人権学習・部落問題学習に取り組みました。

二期の「人権学習のまとめ」として、二〇日(金)に人権集会を行います。この時間に「部落差別をはじめあらゆる差別をなくす 熊本県人権子ども

部活差別をはじめあらゆる差別をなくす 熊本県人権子ども集会

集会』をオンデマンド配信で視聴します。

この集会は、部落差別をはじめあらゆる差別をなくし、人権が共存する人権尊重社会の実現を目指すものです。今年のテーマは、『輪く伝える、認める、つながる』です。

人権を大切に作る社会を自分たちで作っていくために、『伝える・認める・つながる』取組を進めたいと思います。

「人は人との関わりによって人になる」 地域と学校の連携・協働 校長室より

「人は、人によって支えられ、人の間で人間として磨かれていく。」この言葉は、金八先生の名言です。中学生・高校生という多感な時期に、どんな人に出会い、どんな経験をすることはとても大事です。いろんな境目を越え、多様な「人」と対話し、協働する力が求められています。

先日、「地域と学校の連携・協働」推進実践交流会に参加しました。大会のテーマは、「未来の天草の学校づくり・地域づくり」でした。行政説明の後、三校の地域学校協働活動の実践発表がありました。どの発表も「地域とともにある学校づくり」と「学校を核とした地域づくり」が丁寧に行われていました。子供たちの「地域貢献・参画活動」を、子供と学校・地域・保護者・行政の五者が丁寧に連携し、地域の活性化と郷土を愛する心の醸成を図るものでした。

最後に、県社会教育課山口社会教育主事のまとめがありました。その中に、「人は、人との関わりによって人になる」というものがありました。子供たちが社会貢献や社会参画をしていくことで、多くの人と関わり、多くのことを学ぶことができます。学校で学んだことを地域

「子供は、保護者・教師などの大人によって立派な大人になる」、逆に「保護者や教師などの大人は、子供によって成長する」とも言えます。「人」の立場が子供同士であれば、「子供は、友達によって豊かになる」という意味になります。どんな場面でも当てはまりそうですが、とても奥の深い言葉です。「人は人によって(幸せな)人になる」ということは、人と人との関わり合いがその人に影響するということだと思えます。人と人が集団で生活する学校は、子供たちにとってとても成長できる場です。そのことを踏まえ、日々の教育活動に邁進していかねければならないと思っております。

子供たちを信頼して見守り、自分で考えて行動しようとするタイミングをしっかりと見つけ、応援していきたいと思えます。「家庭や地域での関わりの中でも、子供たちにたくさん声をかけ、応援して頂けたら有り難いと思えます。

令和七年もよろしくお願ひします。